

# かやたかゆきの はづれんじゅ

愛川町議会議員

第6号

議会の報告

後援会の連絡

皆さんからの相談

## 子ども達は町の宝物！そして未来への希望！

子ども達には、愛川町を大好きになって貰えるように地域愛を醸成して育てなくてはいけません。その為には、子ども達が大人の階段を登る間に、どれだけ沢山の地域の方々と触れ合い、沢山の経験をし、学びがあるのかだと私は考えます。地域愛を持った子ども達が大人になった時に、愛川町で仕事がしたい！結婚しても愛川町で子育てがしたい！と思ってもらえるようなまちづくりが必要だと思い、6月議会の一般質問で提言をしました。

### 子ども会の復活を目指して！

子ども達は、12歳までにどのように地域に関わるかで心の故郷が決まると言られています。その中で地域と触れ合える子ども会の役割が重要となります。現在は子ども会の解散が相次ぎ、多くの子ども達が地域との繋がりが持てない環境にあります。各子ども会では運営が厳しい状態で解散という形になってしまうので、小学校区単位で子ども会を作り、運営に関しては学校や地域、子ども達に一番近い地域学校協働活動推進員の皆さんを増員し、学校と地域を結ぶ役割に加え、子ども会の役割を担ってもらえることが子ども達にとって一番だと考え、町に提言しました。

### 郷土愛を育む取り組みへ！

子ども達に愛川町を大好きになってもらえるように、地域学校協働活動という小中学校と地域を結ぶ活動を強く推進し、地域の人達と触れ合える機会を多く作ることを提言しました。そして、愛川町を嫌いにならないで欲しい観点から、いじめや不登校の問題の早期解決が出来るように提言しました。



### 障がい児にやさしいまちの実現に向けて！

#### ・幼少期における障がい児への支援策について

早期療育が何よりも大切なことを提言しました。その事により障がいを持つ子ども自身が同じ環境の子ども達と早い時期から学びや、遊ぶことが出来ます。その為にもインクルーシブ社会の実現に向けて、親世代にも療育の大切さを感じてもらえるようにも提言しました。

#### ・小中学校の障がい児の支援策について

現在は通常の学級と特別支援学級の間の学級として通級指導教室という障がいを持つ児童に対して手厚い支援があります。その支援の拡大と中学校にも制度を作るよう提言をしました。

#### ・障がい者雇用の促進に向けた取り組みについて

町で生まれ育った障がい者が、町で自立できるためにも、障がい者雇用の理解や雇用率向上を図る為に、雇用率を上げた企業には、町独自で表彰や助成などを実行して、PRしていく事を提言しました。

その事が多くの町民に知れ渡れば、インクルーシブ社会の実現に繋がります。



## 愛川町に3つのお城があった事を知っていますか？

愛川町には小沢城と細野城、田代城の3つの城が存在していました。順番は、小沢城（鎌倉時代）→細野城（1500年前期）→田代城（1500年中期）と言われています。田代城は、現在の愛川中学校の場所にあり北条の家臣 内藤三郎兵衛秀行が築城し、三増合戦の戦に巻き込まれ落城。その後は再建ではなく、現在の愛川中学校となっています。お城は、一般的にイメージする石垣がある白いお城ではなく、土を盛り上げて土台を作り、城自体は長屋のようなものでした。

色々な方とお話ししている中で、愛川町にお城があったという事を聞き、愛川町の歴史に詳しい郷土資料館の職員さん等にご協力頂き、愛川町には3つの城があったことが分かりました。

### 細野城は山城

細野城は地形を活かした山城で、城主 内藤下野守秀勝が築城しました。小田原の北条氏の幕下に入った豪族です。場所は半原細野地区のマキノ中津川寮付近。のち息子の内藤三郎兵衛秀行が田代城を築城すると伝わります。



### 田代城の城主が勝楽寺を作った！

田代城は、城主 内藤三郎兵衛秀行とし、1500年中期に築城しました。しかし戦国時代の永禄12年（1569年）の相模国北条氏と甲斐国武田氏の三増合戦の戦いに巻き込まれ落城しました。



城主の内藤三郎兵衛秀行は、永宝寺という今の勝楽寺を作りました。



### 小沢城には美しい姫がいた！

小沢城は、2回築城しています。1回目は横山党の小沢氏が鎌倉時代に小沢の諏訪神社付近に築城したと伝わります。しかし建保元年の和田義盛の乱の時に落城しました。お城には美しい姫がいて、戦から逃げる際に箕輪辻を通り、現在の桜坂を下った所にある大沼で自害したと言われ、自害した時に持っていた松の枝が根付いたものが今も存在します（諸説あり）その後に上小沢（現コピオ裏側付近）に、2度目のお城が築城されました。城主は金子掃部助（かねこかもんのすけ）



# かやたかゆきの活動報告 3月～5月



愛川町社会教育委員として、愛川町で開催される神奈川県の地区研究会の準備に向けて会議をしました。



精神障がい者の為に活動する「NPO法人ライラック心の会」の理事として設立から運営をさせて頂きます。



新人議員として、新議員研修会を受けました。議会運営の基礎や心得等の今後に生かせる研修となりました。



愛川町子ども会連絡協議会の総会において司会の役目を頂きました。各子ども会と意見交換も行いました。

## 半原ワサビまちづくりプロジェクト始動！

半原ワサビをまちづくりとして推し進めるために「半原ワサビまちづくりプロジェクト」というまちづくり団体を五月女智一さん(会長)と私(事務局)で設立致しました。そして、今後に向けて半原ワサビを栽培する若手農家さんやメニュー開発などを行う町内の飲食店の方々を中心に、会員17名でスタートしました!! これからも半原ワサビで様々なまちづくり活動をしていきますので、是非お楽しみにしてください♪

### 株分け作業がスタート！

半原ワサビの持ち主である染矢氏により、株分け作業がスタートしました。

株分けから生育して食べれるまでは約2年かかります。その2年間で飲食店の方々とメニュー開発などを行って参ります。白くて綺麗な花も咲きました♪



### 商標登録の申請へ！

歴史と伝統のある半原ワサビを守る為には、名前も守っていかなくてはいけません。よって、半原ワサビを特許庁に商標登録の申請を行いました。



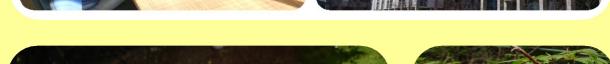
### NHKさんでデビューしました！

団体設立に対して行った勉強会の取り組みをNHKやタウンニュース、神奈川新聞、FMさがみさん等に取り上げて頂き、華々しくデビューしました。これからのメニュー開発などの活動内容も取り上げて貰えるようになりました。



### 神奈川工科大学さんとコラボ

愛川町と包括連携協定を結んでいる神奈川工科大学さんと連携し、ワサビを育てるのに命となる愛川町の水の調査を進めていきます。月1回、1年をかけて水を採取し、研究して参ります。



### 愛川町へ要望中～暮らしでお困りならご相談ください～

愛川町の暮らしてお困りな事がありましたら何でもご相談ください! 内容をお聞きして、町の担当課とかやたかゆきが話し合い、解決に向けて迅速・全力で取り組んで参ります。

#### 現在の要望

ゴミ収集所で、子ども達が遊んだり、ブロック塀の上に登って危ないの、どうしたらよいかの相談でした。

町の環境課と話し合い、子ども達がブロック塀に登れないように看板を設置して安全性を高めました。

要望を私までご連絡ください。携帯090-3695-9357



発行日: 2021年 6月 4日 第6号

討議資料

編集・発行: かやたかゆき後援会

連絡先: 愛川町中津3552

TEL 090-3695-9357 Fax 046-286-7872 Mail takayuki@8744.co.jp



### 3月議会の一般質問をご覧頂けます！

3月議会で行った愛川町の生産年齢人口を増やして町民サービスを向上させる5項目の一般質問を録画でご覧頂けます。

冒頭の2分ほど、私が町に対する想いを述べていますので、そこだけでもご覧頂ければ幸いです。全体で1時間あります。QRコードからご覧ください。



### 編集後記

議員となり1年8ヶ月が経ち、広報誌も第6号となりました。多くの方々からアドバイスを頂き、読みやすい広報誌の作り方を勉強させて頂きました。そして、沢山の方々とお話をさせてもらう中で、自分でも愛川町の事で知らないことがあったりと、毎日が勉強です。この広報誌を作ることも、文化や歴史を調べたりする事で自分自身の勉強にもなります。これからも皆さんに楽しく読んでもらえることを意識しながら作っていきたいと思います。

次号の新聞折込は9月3日金曜日を予定しています。